

# 設立趣旨書

## 1 設立の趣旨

ビバピールは2017年10月から「あかぎ保育の森」という名称で子育て支援の活動を行なっております。

目的としては

①自然環境や野外活動を通じて、子ども自ら夢中になって(自発的)遊べる環境を提供すること

②子育て支援を意識し、情報共有や子育てのヒントを一緒に考えたり、自然環境の中でリフレッシュすることです。

【身体を動かして思いっきり遊んだり、水遊び、焚き火、木登り、泥んこ遊び、野草や虫と遊ぶ、トンカチやのこぎりを扱ってみる。子どもの興味がある方へ「やってみたい」それ以上でも以下でもない ワクワクが湧き出てくる感覚を大切に】

上記の目的と理念を掲げ、その様な体験を野外活動専門とする子育て支援員と一緒に、ママと0歳の赤ちゃんから経験できる場を提供しています。

外でずっと子どもの遊びを見守るのは、大変です。親からしたら、「危ない!」と言いたくなるでしょう。でも、遊ぶことは、子どもの後々の人生の成功につながると思っているし、遊びは学びに欠かせません。そう信じて、親と子ども達に自由と自然の環境を提供します。また、保護者様(特に母親)が、気持ち・時間・場所から解放され、子育て中に起こる様々な葛藤を話せる場所や、コミュニティとなるよう努めています。

そのような中で、「自然と山小屋とあそぼう!」「味噌作り」等のイベントの開催を、ボランティアによる運営で行ってきました。これらの事業は一定の成果を収め、活動への参加者数も増えてきましたし、行政を含め他団体や子育て関連のグループ等との連携も進んでいます。そこで今後は、これまでの活動を継続していきながら、口コミを中心とした活動にとどめることなく、群馬県全体としての取り組みを視野に入れ、他地域への広がりを考えていきたいと思っています。

今回、法人として申請するに至ったのは、任意団体として実践してきた活動をさらに地域に定着させ、継続的に推進していくことと、群馬県全域へ活動を広げていくために他地域の行政や関連団体との連携を深めていく必要があること等の観点から、社会的にも認められた公的な組織にしていくことが最良の策であると考えたからです。また、当団体の活動が営利目的ではなく、多くの市民の方々に参画していただく機会を増やすという点から、特定非営利活動法人格を取得するのが最適であると考えました。

法人化することによって、組織を発展、確立することができ、将来的に子育て支援、野外教育、減災教育、等の健全育成に関わるさまざまな事業を群馬県全体にわたって展開することができるようになり、地域社会に広く貢献できると考えます。

## 2 設立申請に至るまでの経過

「あかぎ保育の森」

2017年7月 森のようちえんじらんぼう(太田)へ見学

2017年10月 青空自主保育としてスタート

2019年4月 子育て支援の場として趣旨を変更。

それに伴い前橋市から名義後援をいただく。

2020年1月 100回目の開催を迎える

2020年8月 延参加人数2000人突破

「青空教室」

1990年頃 あかぎしぜん学園が青空教室を開催

2018年4月 からビバピール町田が運営を行うようになる。

令和4年1月30日

NPO法人ビバピール  
群馬県高崎市飯塚町1723番地5  
町田拓也 印